

生物多様性いちかわ戦略の進捗状況について

1. 基本理念

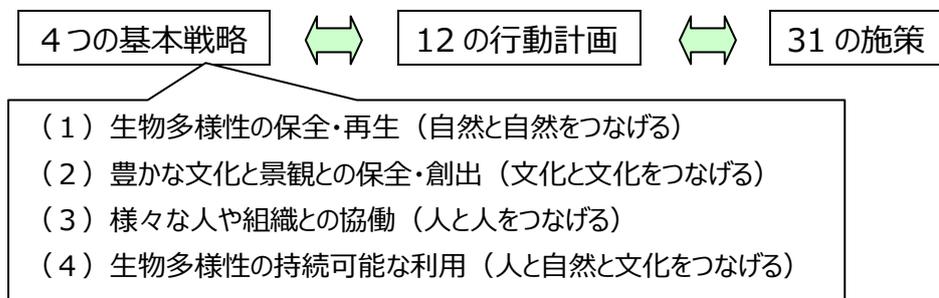
生物多様性の保全再生と持続可能な利用を進めていくために、「自然と自然」「文化と文化」「人と人」「自然と文化と人」のつながりを形成します。

2. 目標年次

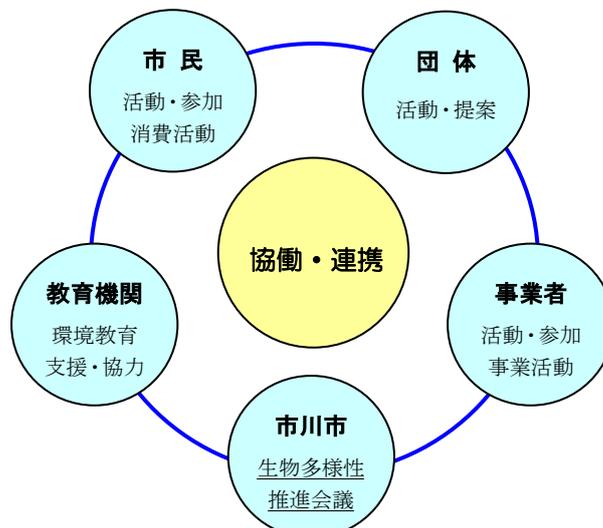
市の総合計画や「生物多様性国家戦略」との整合を図り、3つの目標年次を設定し、段階的な目標を定めています。

短期目標(2020年)	生物多様性への配慮を市の施策に浸透させる。
中期目標(2025年)	国・県・近隣市との連携のもと、あらゆる公共事業に生物多様性についての配慮を反映させる。
長期目標(2050年)	市民生活、事業活動、土地利用、国、県、市の行政活動等のあらゆる場面に生物多様性への配慮を浸透させ、定着させる。

3. 戦略の体系



4. 推進体制



5. 進捗状況

	施策	指標	2015年度 実績	2017年度 実績	2013年度 実績	2020年度目標 矢印は2013年度比較
①	民有樹林地の保全協定の維持	協定山林の面積	38.2ha	38.2ha	38.8ha	→ 民有樹林地の保全
②	市街地の緑地の保全	都市緑地の面積	69.9ha	76.9ha	57ha	↗ 市街地の都市緑地の拡充と保全
③	都市農地の保全	生産緑地の指定面積	95.74ha	93.28ha	99.5ha	→ 生産緑地の維持
④	社寺林と周辺緑地の保全	特別緑地保全地区	3地区 2ha	3地区 2ha	3地区 2ha	→ 市街地の緑地空間の保全
⑤	巨樹や巨木の保全	保存樹木協定本数	178本	175本	189本	↗ 巨樹、巨木の保全
⑥	市民ボランティアによる緑地や山林の保全	保全緑地の状況	16か所	15か所	11か所	↗ 生物多様性に配慮した保全
⑦	市民と市民ボランティアとの交流の場の提供	エコギャラリーの参加団体数	13団体	13団体	15団体	20団体
⑧	生物多様性に関する知識の普及啓発	講座への参加者数	145人	155人	134人	200人
⑨	子どもたちが自然や文化に触れ合える機会の提供	自然体験学習の実施学校数	56校	57校	—	↗ 地域の自然や文化に対する理解と普及
⑩	消費活動における生物多様性への配慮	いちかわ戦略の市民認知度	20%	31%	—	↗ 生物多様性に配慮した消費活動の普及

6. 生物多様性いちかわ戦略の推進に係る主要事業

(1) 生物多様性モニタリング事業

市内の自然環境の状況を、市民・環境団体・事業者等の協力を得て調査し、市の公式 Web サイト「いちかわ生きものマップ」で公表。

(調査員数：126人・団体【H30.7末現在】)

(2) 鳥類調査

市内の16地点の生物多様性の状況と変化を把握するため、自然環境政策専門員が鳥類6種※の生息状況の調査をライン（ルート）センサスで実施。

※里山環境、樹林地、草地・水辺のシンボル種について、それぞれ2種を設定

(3) 自然環境講座

市民が生物多様性の保全・再生に向けて自ら積極的に行動する意識を養うための自然観察会などを開催（H29年度実績 全10回開催 参加者数120人）

(4) 生物多様性セミナー

生物多様性を広めていくための核となる人材の養成を目的として、企業や環境団体などを対象に開催（H29年度実績 1回 参加者数36人）